

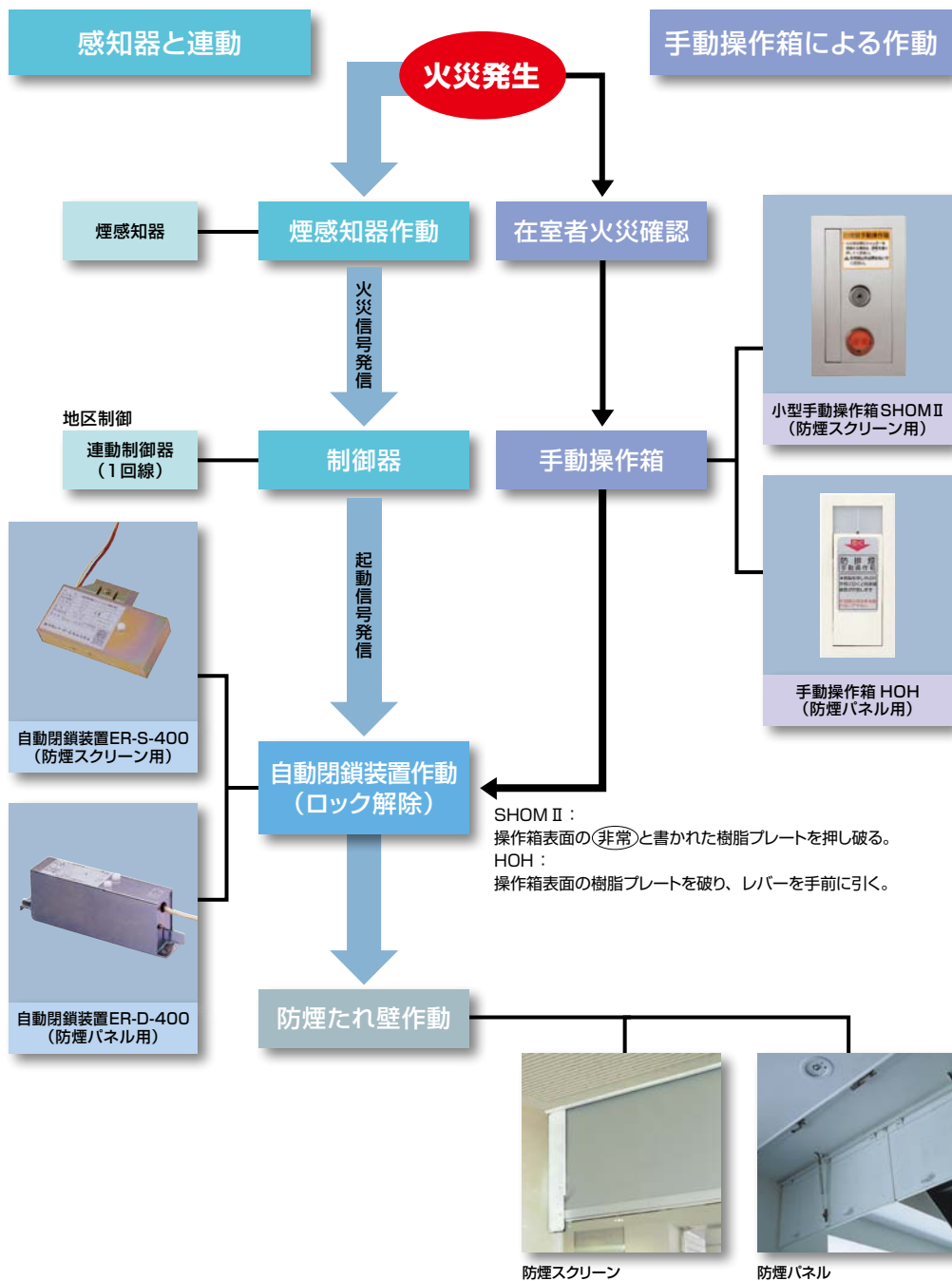
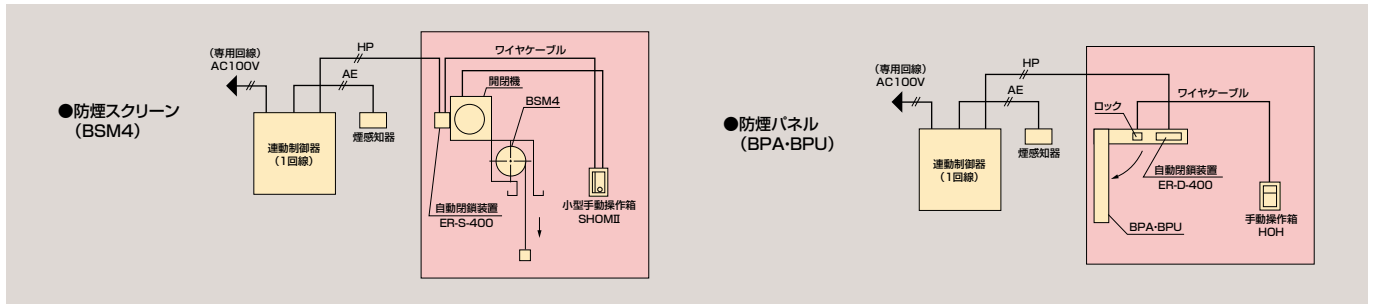
■防煙たれ壁と防災機器

建物の高層化やさまざまな建材利用の中、火災で最も恐ろしいものは『煙』による事故です。

室内空間の複雑化、デザイン化がすすむ今日、建築基準法に基づくこの防煙対策は、建物に欠かせない機能として、ますます高度な対策が要求されています。

鈴木シャッターの「防煙たれ壁」は、多くの火災データからの貴重な教訓を生かしたシステムです。それは予測できるあらゆる状況下での正確・迅速な作動、対応を可能にするばかりか、平常時、室内空間の意匠性を損なわない“機能美”など、独自の工夫が隔々に施された防煙のためのシステム・プロダクツです。

■部は当社指定機器をご使用ください。



平常時は天井に水平に納まり火災時にロックがはずれ、パネルの自重により90°回転し区画を形成するスチール製の防煙たれ壁です。パネルはショックアブソーバを使用しているため、ゆるやかに下降し、火煙による圧力にも耐えることができます。



■特長

- パネルの自重により90°回転し区画を形成するスチール製の防煙たれ壁です。
- 1個の自動閉鎖装置でいくつものパネルを連動させることができます。
- 連動制御器または、連動操作盤により、遠隔操作や一斉操作ができます。
- 復帰は手動操作箱のハンドレバーとパネルを閉鎖位置に押し返すことにより、容易に行えます。
- 仕上げ材として天井材(厚さ9~12mm)を張ることが可能です。
- 防災性能評定品(BCJ-防災-84)です。

Hが大きい場合、回転速度が速いことがあります但故障ではありません。

■仕様

- パネル・枠：スチール
- ユニット厚：85mm
- パネル表面：天井仕上材〔厚さ9~12mm〕(別途工事)
- 作 動：表面上部の樹脂プレートを押し破り、ハンドレバーを引く
- 復 旧：ハンドレバーを戻し、降下したパネルを手で押し上げ、天井面に収納する。

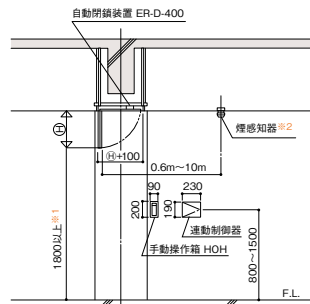
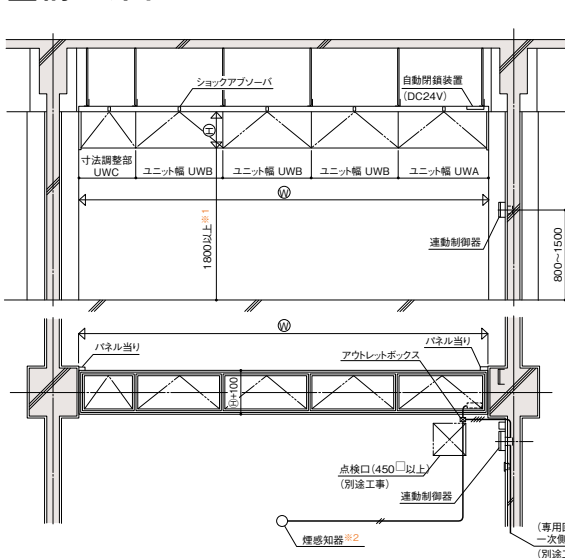
■使用範囲

パネル高さ H=0.5m~0.8m
 パネル幅 W=1.528m~(2連装~)

■使用条件

- 周囲温度：-10℃~+40℃(凍結状態は除きます。)
 - 周囲湿度：RH85%以下
 - 環境条件：沿岸部、化学工場などの腐食性環境を除きます。
- ※設置の際は、天井高さが⊕+1850mm以上必要となります。

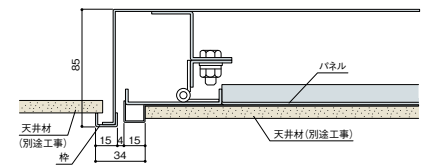
■納まり図



- ※1 防煙パネル降下時は、パネルの下端からF.L.までの距離が1800mm以上必要となります。
- ※2 煙感知器は防煙たれ壁本体から0.6~1.0m以内の距離でたれ壁本体の両側に設置する必要があります。ただし、たれ壁⊙が大きい場合は防煙区画線に沿って5m以内ごとに煙感知器を設置することを推奨します。

■ヒンジ部構造

●パネル収納時



●パネル降下時

